

2020年 新たに始動!

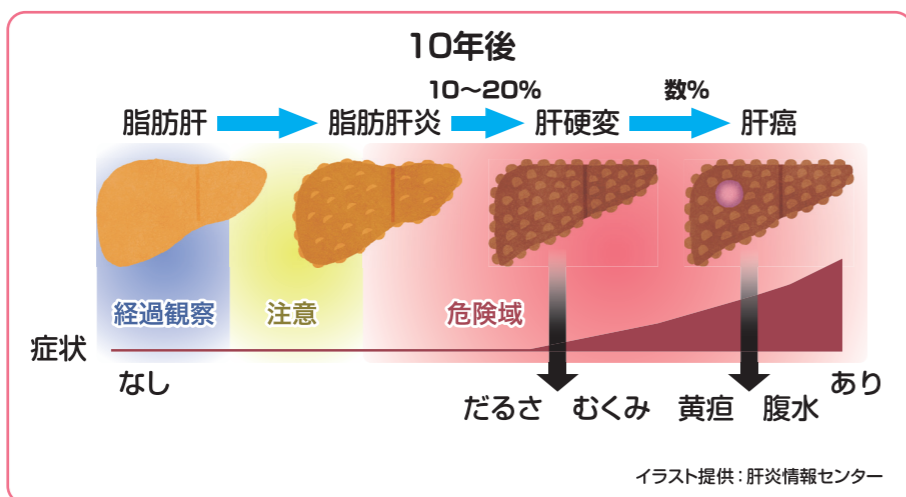
熊本脂肪肝プロジェクト

(脂肪肝早期発見・治療サポートプロジェクト)

脂肪肝が原因で発生する脂肪肝炎・肝硬変・肝がんにならないためには「**脂肪肝**」の段階で放置しないで治すことが大切です。



ポリイちゃん



FIB-4 index 計算サイト



この画面で 実際の数値を入力

FIB-4 index 計算サイト

年齢 歳

AST(GOT) U/mL

ALT(GPT) U/mL

血小板 万/μL

脂肪肝
○あり ○なし ○わからない

アルコール
○飲まない ○ときどき飲む ○毎日飲む

計算する

あなたのFIB-4 index※は です

※高齢の方は値が高く算出される傾向があります

経過観察 注意 危険域

FIB-4 index とは?

熊本大学 消化器内科学講座
熊本大学 肝疾患相談室

FIB-4 indexの説明

FIB-4 index とは?

AST、ALT、血小板、年齢より算出する肝硬変のリスクの判断式です。高い方が肝硬変が強く、肝硬変である可能性があります。肝硬変は肝臓癌の原因になります。※高齢の方は値が高く算出される傾向があります

● 低値 (1.3未満) ... 経過観察

● 中間値 (1.3~2.67 / 65歳以上) (1.3~2.0 / 65歳未満) ... 注意

● 高値 (2.67以上 / 65歳以上) (2.0以上 / 65歳未満) ... 危険

肝臓専門医療機関をご紹介します。熊本大学病院 肝疾患相談室までご連絡ください。脂肪肝と書かれた方は特に注意が必要です! ↓高値・危険域の方はこちらにお電話下さい! ↓脂肪肝が気になる方は是非ご覧ください! 熊本県内の医療機関を紹介します 熊本脂肪肝プロジェクト

熊本大学 消化器内科学講座
熊本大学 肝疾患相談室

結果が光る!

※ **危険域** 判定の方は、専門医療機関で精密検査を受けましょう!

協賛

アステラス製薬株式会社、アストラゼネカ株式会社、アヅヴィ合同会社、アボットジャパン合同会社、ギリアド・サイエンシズ株式会社、中外製薬株式会社、富士レボイ株式会社、ミヤリサン製薬株式会社 (50音順)

お問い合わせ

熊本大学病院肝疾患センター ☎ 096-372-1371
Kumamoto University Hospital Liver Disease Center

ウイルス肝炎研究財団主催

市民公開講座 in Kumamoto

九州を代表する肝臓エキスパートに聞く!

2021

日時

11/27(土) 14:00 ▶ 16:30 (開場13:30)

会場

熊本城ホール 3階 中会議室B1-3

参加無料

開会挨拶 14:00~

公益財団法人ウイルス肝炎研究財団 理事長 市田 隆文 先生

総司会

熊本大学大学院生命科学研究部消化器内科学講座 教授 田中 靖人 先生

講演 1

14:05~14:25

「コロナ禍で進行がんが増加? 今だからこそ必要な肝炎・脂肪肝啓発活動」

熊本大学病院消化器内科 助教 瀬戸山 博子 先生

講演 2

14:25~14:55

「ウイルス性肝炎はこわくない」

国立病院機構長崎医療センター 副院長 八橋 弘 先生

講演 3

15:00~15:30

「食べ過ぎ、飲み過ぎ、脂肪肝」

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 消化器疾患・生活習慣病学 教授 井戸 章雄 先生

講演 4

15:30~16:00

「肝がんの治療薬が大きく進歩しました」

長崎大学病院 病院長・消化器内科 教授 中尾 一彦 先生

?!

16:00~16:20

肝臓なんでも相談コーナー

熊本大学大学院消化器内科学医師

立山 雅邦 先生 渡邊 丈久 先生 長岡 克弥 先生 吉丸 洋子 先生

閉会挨拶

熊本大学大学院生命科学研究部消化器内科学講座 教授 田中 靖人 先生

熊大消化器内科・KGMでは啓発用マスコットを作成して、肝がん撲滅運動をすすめています。名前は「ポリイちゃん」と言います。皆さんよろしくお願ひします!

主催: 公益財団法人 ウィルス肝炎研究財団

共催: 一般社団法人 日本肝臓学会 協賛: 一般社団法人 熊本消化器医療推進機構 後援: 熊本県、熊本市、熊本県医師会、熊本市医師会、熊本大学病院肝疾患センター

ごあいさつ

本日はウイルス肝炎財団主催の市民公開講座にご参加いただき、ありがとうございます。今回は九州を代表する肝臓専門医の先生方に講演を頂きます。対面での現地開催を予定しておりますが、後からでもご覧いただけるようオンデマンド配信も行いますので、よろしくお祈りします。

市民公開講座inKumamoto 開催責任者:熊本大学大学院 消化器内科学講座 教授 田中 靖人



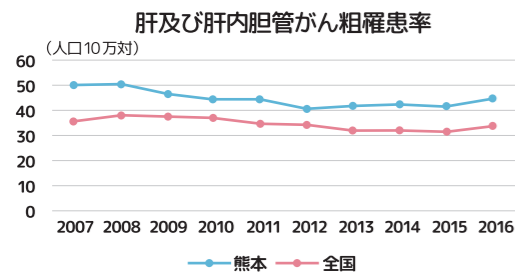
ポリイちゃん

14:05~14:25

講演 1

コロナ禍で進行がんが増加? 今だからこそ必要な肝炎・脂肪肝啓発活動

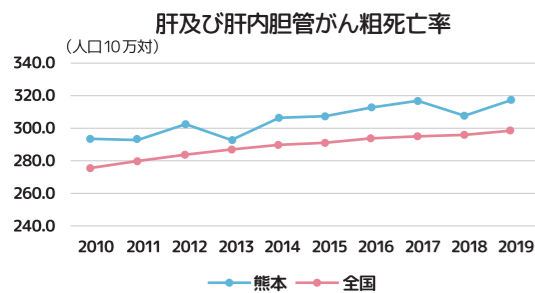
熊本大学病院消化器内科 助教 瀬戸山 博子



罹患率: 一定期間中に特定の病気にかかった患者の人口に対する比率

●熊本県は全国平均と比べて肝がんと診断される人や肝がんが原因で亡くなった人の割合が多い地域です。

●肝がんの予防や早期発見のためには、その発生を高める要因である肝炎ウイルスや脂肪肝について適切な診断、治療を受ける必要があります。



死亡率: 一定期間中に死亡した人の人口に対する割合

●コロナ禍で感染を恐れて受診を控える方が増えた影響で、いくつかのがん種では早期がんで見つかる患者さんの数が減少していることが明らかになっています。

●熊本大病院肝疾患センターでは、肝炎ウイルス陽性の方や肝臓が硬くなりかけている脂肪肝の方が、それに気付いたり、肝臓の専門医の診察を受けたりするためのお手伝いをしています。

(国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」、熊本県がん登録報告書より引用、改変)

14:25~14:55

講演 2

ウイルス性肝炎はこわくない

国立病院機構長崎医療センター 副院長 八橋 弘

1. C型肝炎は、治せるようになりました
2. B型肝炎は、コントロールできるようになりました
3. 会食や蚊では、B型肝炎/C型肝炎はうつりません
4. コロナ禍でも元気になるこつ



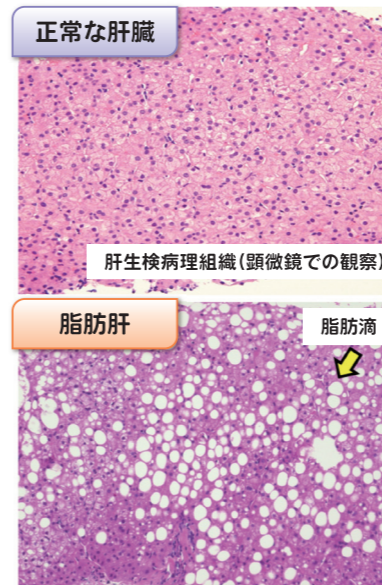
~ 14:55~15:00 5分間休憩 ~

15:00~15:30

講演 3

食べ過ぎ、飲み過ぎ、脂肪肝

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 消化器疾患・生活習慣病学 教授 井戸 章雄



脂肪肝とは

- 肝細胞に主として中性脂肪が沈着して肝障害をきたす疾患の総称。
- 飲酒によるものと、飲酒によらないものがある。



近年、脂肪肝による肝硬変が増加しています。飲酒は肝硬変・肝がんだけでなく、食道がんや咽喉頭がんの危険因子です。一方、肥満、高血圧、糖尿病、脂質異常症のある脂肪肝の方には肝がんだけでなく、大腸がんや乳がんも発生しやすいことが報告されています。コロナ禍で飲酒量が増え、運動不足になっているなか、本当は怖い「脂肪肝」についてお話しします。

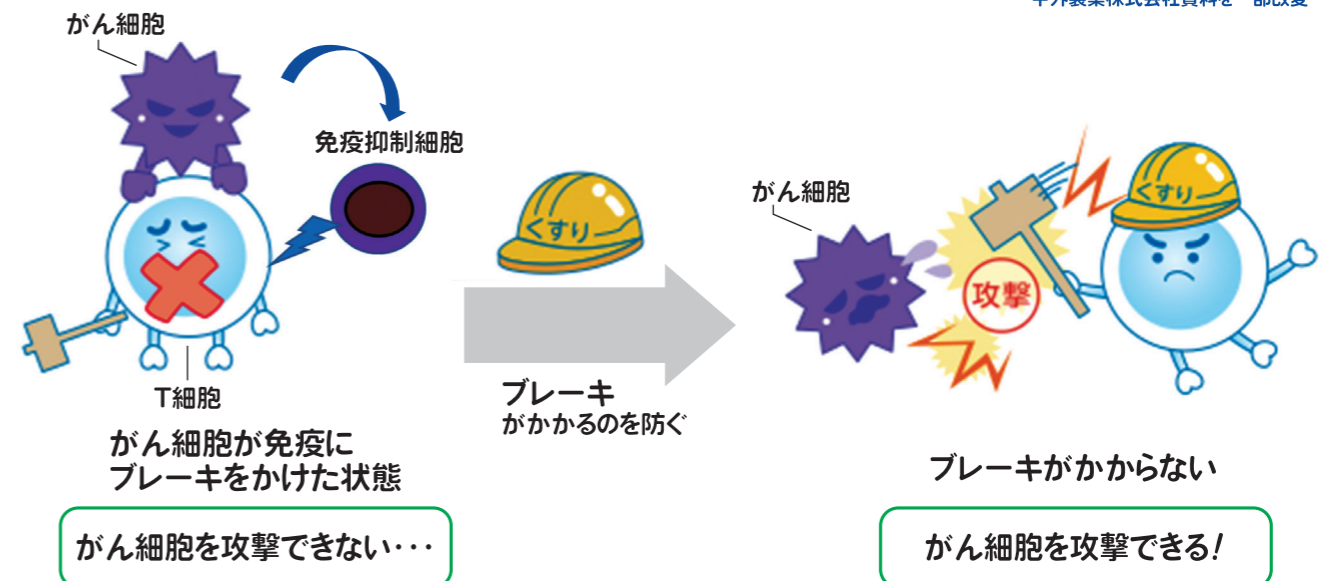
15:30~16:00

講演 4

肝がんの治療薬が大きく進歩しました

長崎大学病院 病院長・消化器内科 教授 中尾 一彦

中外製薬株式会社資料を一部改変



肝がん細胞は免疫細胞(T細胞)の働きにブレーキをかけることでがん細胞を攻撃できなくしています。ブレーキがかかるのを防ぐ新しいくすりの働きで免疫細胞はがん細胞を攻撃できるようになります。その結果、肝がん細胞は死滅し肝がんは縮小し消失することも期待できるようになりました。